



令和4年8月発行 No.4-6 (豚)  
埼玉県川越家畜保健衛生所  
電話：049-225-4141  
FAX：049-226-9653  
緊急携帯 090-7191-3473  
Eメール：[r254141@pref.saitama.lg.jp](mailto:r254141@pref.saitama.lg.jp)  
(夜間、土日祝日は緊急携帯に転送)

# 家畜衛生だより

## 越生町の野生いのしし、「豚熱 PCR 陽性」!



令和4年8月4日に越生町堂山で捕獲された野生いのししについて、PCR検査したところ、8月17日に豚熱陽性となりました。県内で最後に陽性いのししが確認されたのは、令和3年12月29日に秩父郡横瀬町で捕獲されたいのししであり、約7か月ぶりの陽性確認となります。

なお、令和元年9月から実施している野生いのししの豚熱検査の総数は、8月17日現在1,986頭であり、その内、122頭が陽性となっています。

### ■豚熱陽性が確認された野生いのしし

捕獲場所	状態	検査日	捕獲日	性別	成子の別
越生町堂山	捕獲	R4.8.17	R4.8.7	雄	成獣

※豚熱陽性いのししが確認されている県内市町村

飯能市、東松山市、日高市、越生町、嵐山町、小川町、ときがわ町、秩父市、本庄市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町、東秩父村、美里町、神川町、寄居町

### 改めて飼養衛生管理基準をご確認ください

- 衛生管理区域への野生イノシシ等の侵入防止対策を徹底してください
- 衛生管理区域に入退場する人・車両等の消毒を徹底してください
- 飼養豚に異常が確認された場合、速やかに川越家畜保健衛生所へ連絡してください
- 豚熱ワクチン接種については、接種漏れ等がないよう豚群を適切に管理してください

## 「30日齢以前の子豚」への早期接種が可能に！

農林水産省は7月11日に省内で第88回牛豚等疾病小委員会を開催しました。その中で豚熱ワクチン接種適期の問題が取りあげられ、「母豚からの移行抗体を考慮した結果」という条件つきで、30日齢より早い時期の接種を可能とする見解を初めて示しました。

## 飼養衛生管理の徹底をお願いします！

ワクチン接種農場における発生のほとんどが、ワクチン接種前後の離乳豚や接種後経過日数が短い肥育豚で確認されています。免疫を獲得していない豚群では特に感染がおこりやすいため、豚舎に出入りする際にはウイルスを持ち込まないための措置が重要です。

### 豚舎出入り時の衛生対策例

病原体を持ち込まないようにするためには、病原体に汚染されている**汚染エリア**と、病原体の存在しない**清浄エリア**を分け、両エリアの**境界を明確**にしてください。清浄エリアに入る前には長靴、手指等の消毒をし、清潔な衣服・長靴に着替えることが重要です。

右図のように、汚染/清浄エリアの境界で履き替えましょう！

